

国語総合の小説分野において読解力を高める指導の工夫

—双方向の交流を意識させた「学び合い」を取り入れて—

国語班 北爪 紀枝 (高等学校教諭)

主題設定の理由

- テキストの内容を読み取り構築した自分の意見を表現し合うことに苦手意識を持っている生徒が多い。
- 「①正確に読んで ②読んだことを根拠にして ③自分の意見を表現」する「読解力」を養いたい。
- 現行の学習指導要領や「平成26年度県立学校教育指導の重点」でも求められる言語活動の充実を目指す。

研究の概要

目指す生徒像



書き手の意図や主題を読み取り、それを表現することができる生徒

3 深まる

小説の主題や作者の意図について話し合った結果を、生徒全員で共有する。

2 知る

多面的多角的な意見や考え方があることを知る。

1 伝える

自分の意見を持ち、意見交換をする。

学習過程

手立て・教材

★「学び合い」活動の工夫

- ・ペア→グループ→クラス全体
- ★ワークシートの工夫
- ・予習の定着
- ・主題把握 等

1学期『羅生門』

芥川龍之介

2学期『鏡』

村上春樹

3学期『なめとこ山の熊』

宮澤賢治

生徒の実態



テキストの内容を読み取り、意見を持つことができてもそれを表現したり伝え合ったりすることが苦手な生徒

「鏡」ワークシートⅣ
疑問?「この家に鏡が一枚もない」頁 行の何故?
① 元來偽の現実を作り出してしまおう物である鏡なるものを嫌悪していたから
② 鏡を見ないで髭を剃ることが得意で、鏡をまったく必要としないから
③ 鏡をめぐって嫌な体験をし、鏡そのものが恐怖・嫌悪の対象になったから
④ 異界への通路である鏡の中から怪異が再び出現することを恐れ続けたから
⑤ 鏡を見ることでまたも僕以外の僕が出現してしまうことを恐れたから
⑥ 自分自身というものの怖さを知って、自分の顔を見るのが嫌になったから
⑦ 鏡をめぐって恐怖を聞かせてしまった聴衆に怖い思いをさせまいとしたから
⑧ 主人として最後に話す以上、聴衆を怖がらせる演出を工夫したかったから
⑨ 今朝聴衆の「みんな」を迎えるための掃除の際に鏡を割ってしまったから
⑩ 既に「僕」になっている「僕以外の僕」が再び元に戻ることを恐れたから
その他)

《実践2》ワークシート
選択肢を活用した
主題の把握

成果・課題

成果

- ・ワークシート等の工夫により生徒の語彙力や知識力を高めることは、各自が意見を持つことに有効であった。
- ・「学び合い」活動は、各自の意見を表現する力やそれらを深め合う力を高めることにつながり、読解力の向上に有効であった。また、授業態度はより主体的なものになった。



課題

- ・より効果的な「学び合い」活動の実現に向け、以下の2点に留意する必要がある。
- ① お互いの意見等を自由に伝え合える授業の雰囲気づくり
- ② 授業のどの場面で活動を設定すると読解力向上に有効となるか、見通しを持った授業計画の構想

提言



- ・自分の意見を『伝え』、自分以外の意見の存在を『知り』、自分の意見を修正し『深める』ことができる「学び合い」活動は、読解力の向上につながる。
- ・予習プリント、ワークシート、発問の仕方だけでなく、「話しやすい雰囲気」を作っていくことも、「学び合い」の活性化や成果の多寡に大きく影響を与える。